

ハイパーカミオカンデ^{けんがくかい はなし}見学会のお話②

は 晴れときどき^{おおあめ}大雨、といった^{てん き つづ}天気が続いていますね。^{しつ ど たか}湿度が高くて^{くう き}空気がじつ
とりしているので、エアコンをかけっぱなしで^{ね ひ ふ}寝る日も増えてきました。もう少^{すこ}
し^{でん き だい}電気代にやさしい^{なつ}夏になってほしいものですが……

^{こんかい}今回はハイパーカミオカンデ^{けんがくかい}見学会についての^{かい め}2回目です。^{ぜんかい}前回のつづやきを
まだ^よ読んでいない^{ひと}人は、そちらを^{さき}先に^よ読んでくるのがおすすめです。

ハイパーカミオカンデは^{う ちゅうほうしゃせん}宇宙放射線の^{えいきょう}影響が^{じ めんふか}少ない^{ち か}地面深く（およそ地下
^{すい}680m）に大きな^お水そうを置いて、ニュートリノなどの^{かんそく め ざ し せつ}観測を目指す施設です。

^{やく まん トン}約26万 t（^{はい}25m プール 800～900杯ぶん）という^{たいりょう みず はい すい}大量の水が入る^{つく}水そうを作る

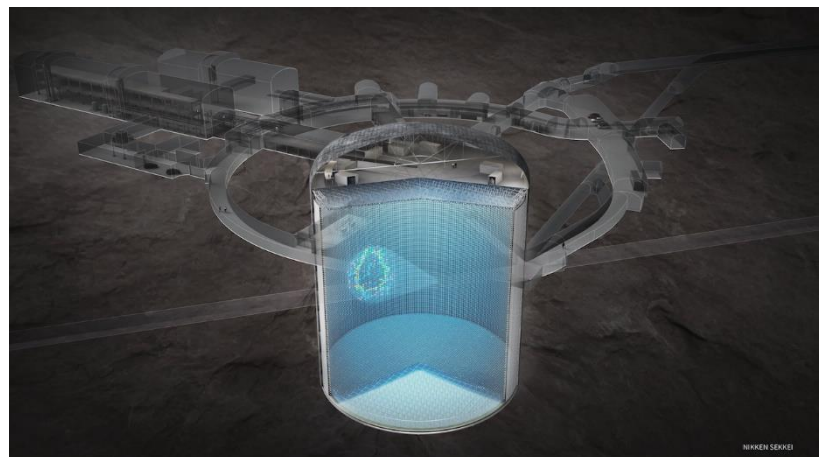
ため、^{ちよっけいやく}直径約70m、^{たか}高さ

^{やく}約80m（^{かい だ}23階建てのビル

^{はい}が入るぐらいの^{おお}大きさ）

という^{きょだい くうどう ほ}巨大な空洞を掘る

^{ひつよう}必要がありました。



ハイパーカミオカンデの完成イメージ（公式 HP より）

今回はその空洞を掘る工事がほぼ終了したことを記念した見学会で、見学

会の本番は 6/29 ですが、前日の 6/28 には東京大学宇宙線研究所の助教

授、田中秀和先生の講演会がありました。

講演会では、地質調査などから始まった掘削地の選定、どのように掘ってい

くか（工法など）の計画、工事中の予想外の事態で発生した一部計画変更など

についてのお話を聞くことができました。また、今後の研究の展望などについ

て、会場からの質問なども交えながら解説していただきました。

あん Do は残念ながら時間切れで質問することが
できなかったのですが、ハイパーカミオカンデの

主な研究対象の 1 つである CP 対称性のやぶれ

（なぜ、われわれの宇宙は今のようになっている

のか、という根源的な疑問に近づくための研究）

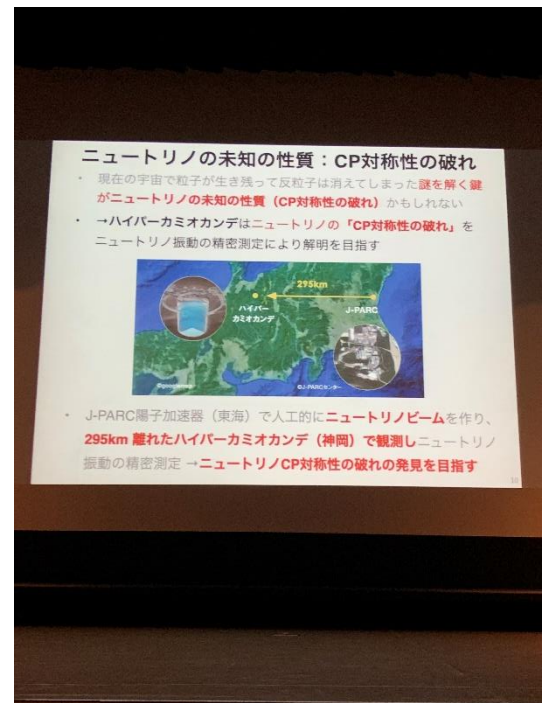
について、会場の小学生（4、5年生ぐらい？）

が質問していたのが印象に残っています。また、

資料にあった工事中の写真を見ても相当大きな

空間だ、というのがわかり、この目で見るのが楽

しみになる講演会でした。



次回、いよいよ見学会本番のお話になります。

25/7/17 (巨大建造物はロマン) あん Do

参考：

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%AB%E3%83%9F%E3%82%AA%E3%82%AB%E3%83%B3%E3%83%87>

(Wikipedia のカミオカンデのページ)



<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B9%E3%83%BC%E3%83%91%E3%83%BC%E3%82%AB%E3%83%9F%E3%82%AA%E3%82%AB%E3%83%B3%E3%83%87>

(Wikipedia のスーパーカミオカンデのページ)



<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%8F%E3%82%A4%E3%83%91%E3%83%BC%E3%82%AB%E3%83%9F%E3%82%AA%E3%82%AB%E3%83%B3%E3%83%87>

(Wikipedia のハイパーカミオカンデのページ)

